

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

- 1 私は、体罰を行いません。
- 2 私は、セクシャル・ハラスメントをしません。
- 3 私は、パワー・ハラスメントをしません。
- 4 私は、職場での不祥事根絶に貢献します。

私たちは、賀茂高校に誇りを持ちます。

不祥事根絶のための行動計画

令和2年4月1日

賀茂高等学校
校長 山田 剛司

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	○教職員一人ひとりが個人レベルで一定程度の規範意識を持っているが、慣れと連続する日常業務の中で、危機管理意識が薄れてしまうことがある。	○節目節目で、規範意識の自覚を促す取組を行う。	<p>◎【不祥事根絶に向けた本校の決意】カードに署名し、名札（カードホルダー）に入れて常時携帯する。</p> <p>○不祥事防止研修において、全員が自分のことについて発言できるよう、小グループでの協議等の工夫をする。（他者を証人にしての自分への約束・研修時）</p> <p>○定期考査時、成績入力時、年度初め・末の歓送迎時期など、その時期で起こしやすいミスを適時に注意する。</p> <p>○不祥事に繋がる兆候に気づいたら速やかに注意を行い、全体で共有し、改善する。</p>	<p>○チェックリストを活用して自分自身の行動を振り返るとともに、集計して職場の傾向を把握する。（7月）</p> <p>○気になる事象について、情報をつかみ、個別面談等、早めの対処をする。（不祥事防止委員会）</p>
学校組織としての不祥事防止体制の確立	○不祥事が発生する可能性がある校内業務システムの洗い出しが不十分である。	○不祥事に繋がる可能性が極力低い校内業務システムを構築する。	○各分掌、学年で校内業務システムの点検を行い、不祥事に繋がる可能性のある箇所があれば直ちに改善する。	○校務運営会議で改善策について再検討し、実行する。
相談体制の充実	○体罰、セクシュアル・ハラスメント等の相談について、生徒・保護者・教職員へ周知しているが、利用する機運は低い。	○相談すべき時に、相談できる環境をつくる。	<p>○気になる生徒への声かけや保護者との連携を密にする。（信頼関係を築く）</p> <p>○学年会等での情報交換により、生徒情報を教職員が共有し、それぞれの立場からのタイムリーな働きかけを行う。</p> <p>○学年だよりで保護者等に周知する。</p>	<p>○学年会等での生徒情報を適切に記録し、活用する。</p> <p>○学期末に生徒、保護者及び本校教職員を対象にアンケートを実施する。</p>